

2013
1月



広報ちくじょう



(城井ノ上城址登り口)

いにしえの歴史ロマン～宇都宮一族の面影を求めて

平成26年のNHK大河ドラマの主人公が「黒田官兵衛」に決定しました。黒田官兵衛といえば、豊臣秀吉の軍師として有名ですが、現在の築上町を拠点とし、この地方を治めた「宇都宮鎮房」を滅ぼしたことでも知られています。

鎌倉時代、源頼朝の命により豊前に入国した宇都宮氏はその後豊前最大の武士団となりましたが、天正16年（1588）、最後の当主鎮房が黒田官兵衛に中津城で謀殺され、四百年の歴史に幕を閉じます。

本町には、今も宇都宮氏の城跡が数多く残っており、その面影を伝えています。

大河ドラマをきっかけに皆さんも一度これらの城跡を巡り、中世の時代に思いを馳せてみませんか？

「城井ノ上城址」は、周囲を岩壁に囲まれた地形で、自然の巨岩の表門と裏門があり、そこは村人などが避難のために籠る場所だったと思われます。